

バレーボール ネーションズリーグ 2024 福岡大会にて 始球式を行いました



令和6年6月14日(木)、福岡県北九州市にある西日本総合展示場にて開催されている「バレーボール ネーションズリーグ 2024 福岡大会」で、FAVA ワンヘルス福岡オフィス所長である、
藏内勇夫世界獣医師会次期会長が始球式を行いました。
試合終了後、ワンヘルス認証を取得している八女茶を、監督や選手、大会関係者へ贈呈しました。
また、試合前には、屋外に設けている福岡県ワンヘルス認証ブースを訪れました。



【ネーションズリーグ福岡大会とワンヘルスの関連について】

バレーボールワールド(VW)日本エリア代表:青山アリアさんのインタビュー記事

通常、2週間の大規模な大会で約2万食分の弁当が必要になり、最低でも4分の1程度が廃棄されています。

しかし、今大会では、スタッフやボランティアへの弁当の提供を行わず、会場近隣の約70店舗で使用できる「ミールクーポン(食事券)」を配布することで廃棄をゼロにします。

食事のために歩くことが健康増進になり、自然と地域との繋がりも生まれる狙いがあります。



また、バレーの応援で使用されるスティックバルーンは、試合後に、会場周辺で捨てられてしまう可能性があるため、会場内では「不要なスティックバルーンは席に置いておいてください」と呼びかけが行われています。不要になったスティックバルーンは、二酸化炭素(CO2)の排出を抑えながらリサイクルできる業者に依頼する取り組みを行っています。

～ 福岡県とFIVBによる共同記者会見 ～



令和6年1月31日(水)、バレーボールネーションズリーグ2024(VNL2024)の開催地が福岡県北九州市に決定しました。

これにあたり、国際バレーボール連盟(FIVB)のファビオ・アゼバド事務総長、日本バレーボール協会(JVA)の金川裕一副会長、服部誠太郎福岡県知事が福岡県庁にて会見を行いました。

【ファビオ FIVB 事務総長】

「福岡県はワンヘルス(人の健康、動物の健康、環境の健全性をひとつの健康と捉え、一体的に守っていこうという取組)を発信していることが重要な決め手の一つとなった」

【服部誠太郎福岡県知事】

「福岡県におけるワンヘルスの取組みが、開催決定の重要な決め手の一つとなったこと、また、今大会の意義の一つとして掲げられたことを大変嬉しく思います。本大会が大いに盛り上がるよう、県をあげて全力でサポートをさせていただくとともに、関係者の皆様と力を合わせて取り組んで参ります」